



平成27年5月21日

会 社 名 株式会社テクノマセマティカル
(コード 3787: マザーズ)
住 所 東京都品川区西五反田二丁目12番19号
代 表 者 代表取締役社長 田 中 正 文
問 合 先 担当者 経営企画部 中 山
電 話 番 号 03-3492-3633

＜マザーズ＞ 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時 平成27年5月21日 15:00～16:00

開催方法 対面による実開催

開催場所 東京証券会館

東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

説明会資料名 平成27年3月期＜第15期＞決算説明会

【添付資料】

1. 投資に関する説明会において使用した資料

株式会社テクノマセマティカル

平成27年3月期＜第15期＞ 決算説明会

■ Algorithm Specialist

TMC

平成27年5月21日

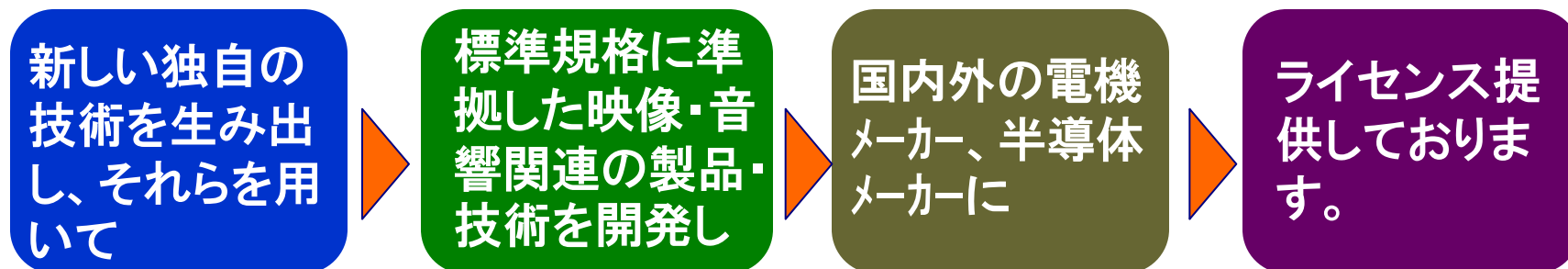
Agenda

1. 事業概要
2. 今期決算と来期予想
3. 売上内訳
4. B/S、C/F
5. 来期(H28/3期)について
6. これからの事業展開について

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

1-1 当社の基幹業務について



- ①高圧縮率、
- ②高画質、
- ③低消費電力、
- ④低遅延

が実現できるデータ圧縮技術を開発、提供し続けます。

1-2 当社の基幹業務について

2000年6月設立当初から

“アルゴリズム開発” をビジネスの基幹と位置付け

DMNA

(Digital Media New Algorithm)

テクノ マセマティカルが開発したアルゴリズムの愛称

画像/映像

音響/音声

DMNAを圧縮／伸張処理に応用

ソフトウェアIP

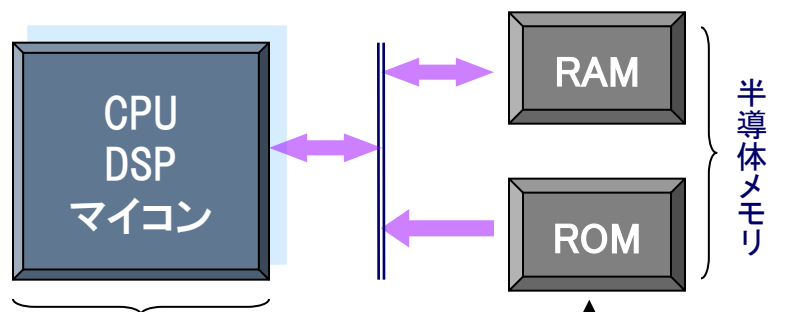
ハードウェアIP

ソリューション事業

単機能LSI/ボード

1-3 製品形態

ソフトウェアIPライセンス



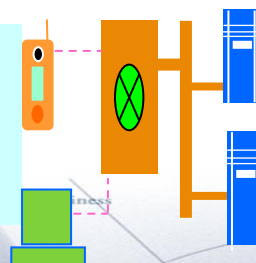
マイクロプロセッサ

- ・ルネサスエレクトロニクス
- ・富士通
- ・Intel
- ・TI
- ・Freescale
- ・ARM
- ・MIPS
- ・SOCIONEXT
- ・

ソフトウェア製品
音響:MP3、AAC、AC3
動画:MPEG-4、H.264
静止画:JPEG等

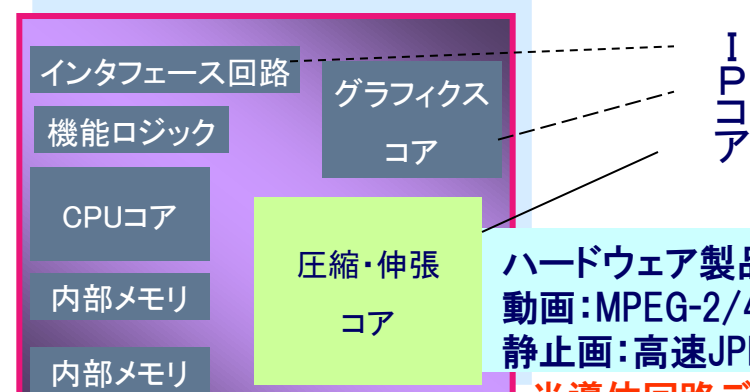
ソリューション関連

- ・配信システム
- ・WiFi対応
- ・Video,Audio配信システム
- ・各種ソリューション



ハードウェアIPライセンス

SoC (System on a Chip)



ハードウェア製品
動画:MPEG-2/4、H.264
静止画:高速JPEG等

半導体回路データ

単機能LSI

- ・MPEG-2_HD
- ・超解像
スケーラLSI
- ・H.264_HD

半導体チップ



1-3-1 画像／映像

H.264 イントラフレーム IPコア

- ・ H.264ハードウェアイントラフレームIPコアを廉価なFPGA実装するために回路規模を最適化し、コンパクトながらも高画質を維持
- ・ イントラフレームだけで圧縮
 - ⇒ インターフレームの生成が不要
 - ⇒ フレーム間参照用の外部メモリが不要



- ・ JPEGなど既存システムの置き換えにも適しています。
- ・ JPEGよりも圧縮率が高く、厳格なレートコントロールが可能です。



ドライブレコーダー、監視カメラ等の証拠画像や自動運転支援等に向いています。

1-3-2 音声

三次元 22.2ch AACデコーダソフトウェア

◆ ARIB高度BSデジタル放送規格準拠 ◆

ARIB 高度BSデジタル放送、高度狭帯域CSデジタル放送の音声コーデック規格に対応した三次元マルチチャンネル AACデコーダのソフトウェアライブラリ



2016年から実用化試験放送が始まる予定のスーパーハイビジョンのための3次元立体音響システムに用いられる技術で、広い聴取エリアでの高臨場感再現とあらゆる方向への音像定位を可能とします。



3次元立体音響が求められる劇場、ライブ会場、ホームシアター向けのオーディオ機器に最適です。

1-3-3 ソリューション

・4K／60fps 高画質・低遅延 画像伝送装置

数学的手法を駆使した独自のコンピュータアルゴリズム [DMNA] を用いて開発した、H.264エンコーダ・デコーダLSIを使用し、**64Mbps以上の高画質伝送レートでも、150mSecの低遅延**を実現



・各種ライブ中継等のリアルタイム配信に最適

・4K+(プラス) 60fpsサイネージ システム

- ・大画面、高精細の4K複数画面の同期表示に対応したサイネージシステムを手軽に、安価に実現
- ・コンテンツにより、4K画像、マルチ2K、その他画サイズ画像を切替、マルチ表示することが可能

1-4 当社事業の特徴

1. 独自技術により、差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス・ロイヤルティモデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開可能

国際標準規格準拠、日本発の映像／音響／音声製品

4. 事業領域拡大による収益力の向上

既存／新規の技術を応用したソリューション分野への展開

2-1 損益計算書推移

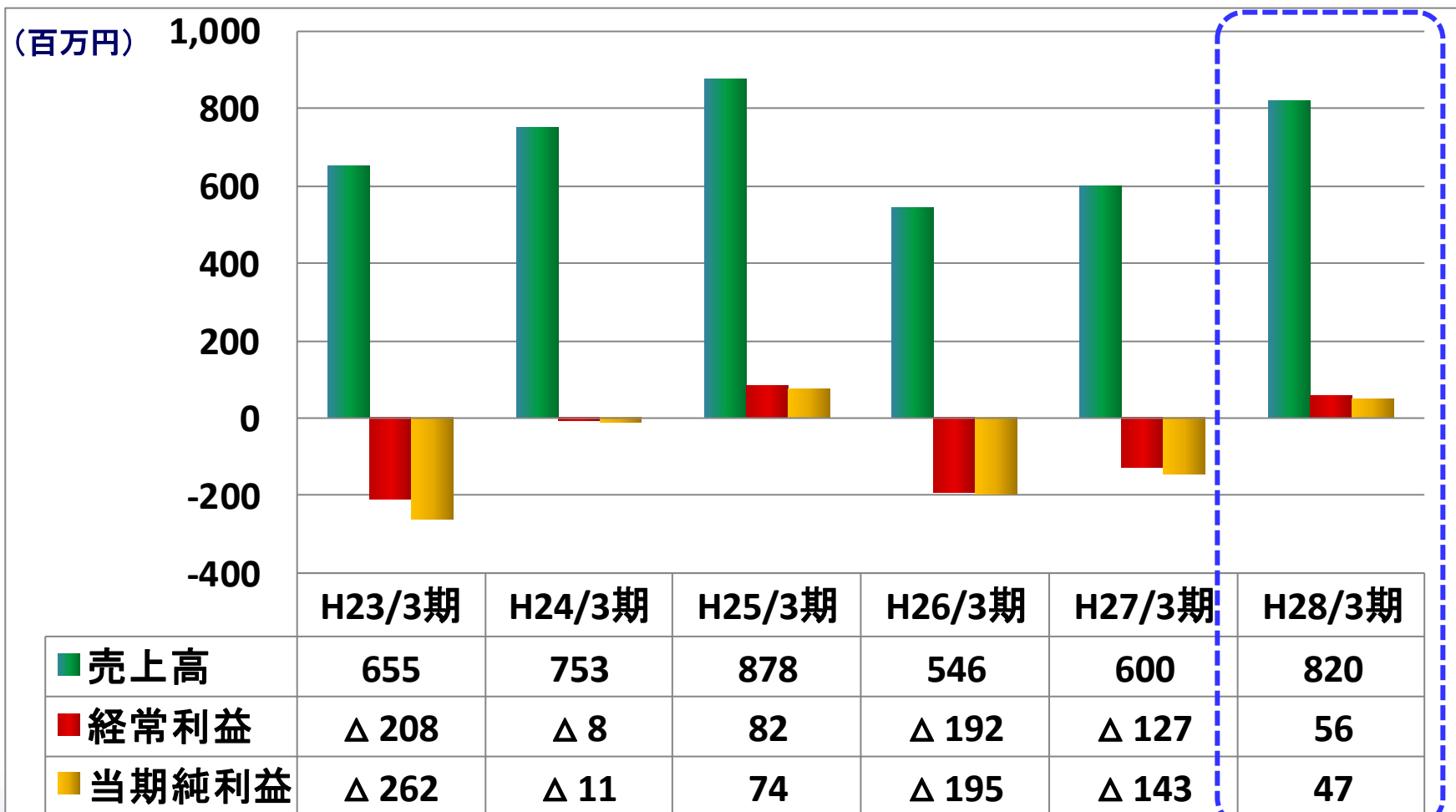
(単位:百万円、%)

	H26/3期(実績)			H27/3期(実績)			H28/3期(予想)		
	金 額	構成比	前期比 増減額	金 額	構成比	前期比 増減額	金 額	構成比	前期比 増減額
売 上 高	546	100.0	△ 332	600	100.0	54	820	100.0	220
売上総利益	501	91.8	△ 278	496	82.7	△ 5	680	82.9	184
販売管理費	698	127.8	△ 5	635	105.8	△ 63	625	76.2	△ 10
営 業 利 益	△ 196	△ 35.9	△ 272	△ 139	△ 23.2	57	55	6.7	194
経 常 利 益	△ 192	△ 35.2	△ 274	△ 127	△ 21.2	65	56	6.8	183
当 期 純 利 益	△ 195	△ 35.7	△ 269	△ 143	△ 23.8	52	47	5.7	190

2-2 業績の推移

H27/3期 要因 ◆ 売上高 大型案件少なく、ロイヤルティもデジカメ中心に振るわず伸び悩み
◆ 損益 1割増収と経費節減により赤字幅は縮小

H28/3期予想



3-1 売上の内訳(事業区分別)推移

H27/3期

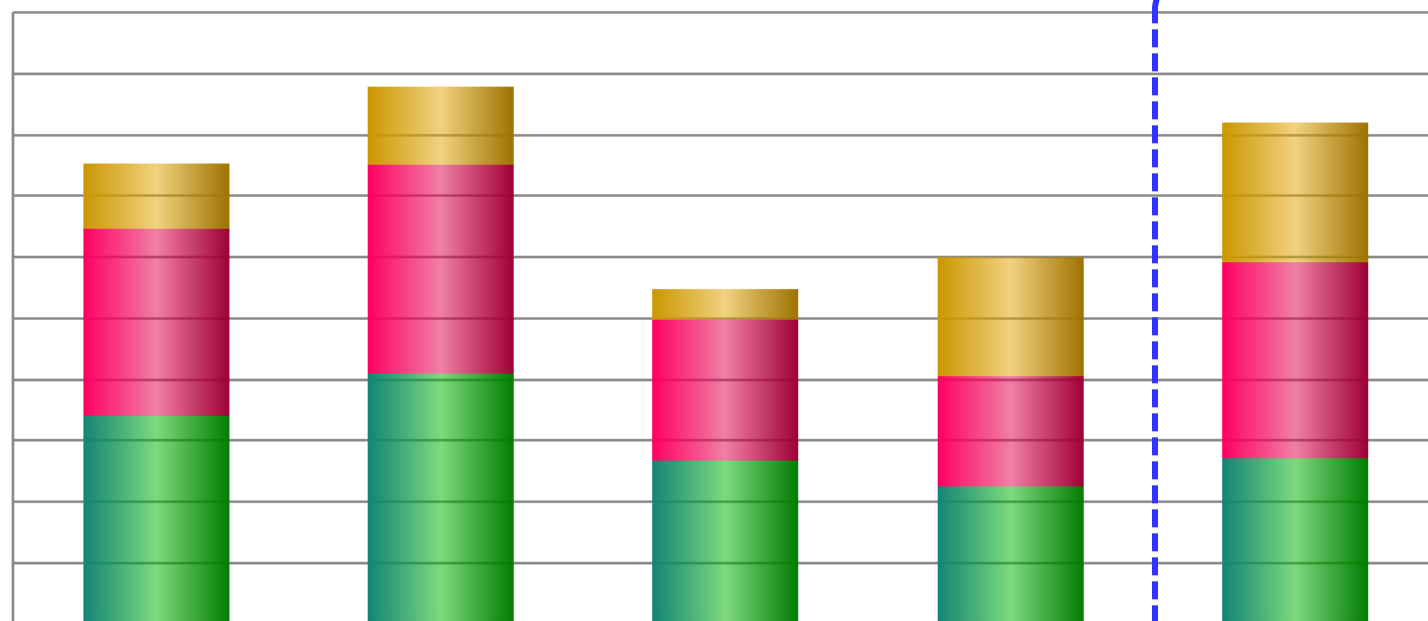
◆IP事業は前期比2割減・・・大型案件数減少とロイヤルティの減少が響く

◆ソリューション事業は前期比4倍増・・・車載向け開発、HEVC関連システム開発が貢献

H28/3期予想

(百万円)1,000

900
800
700
600
500
400
300
200
100
0

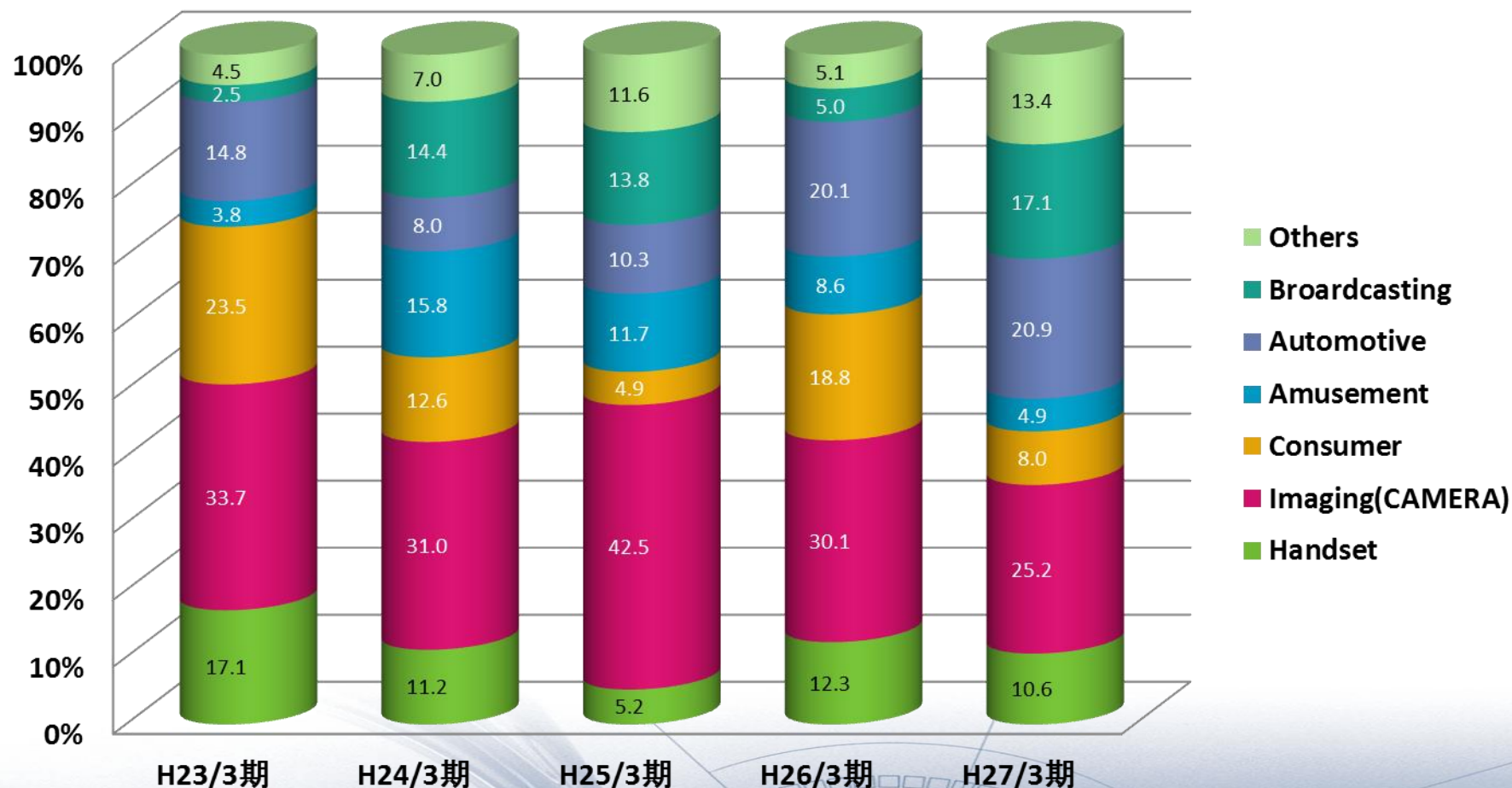


	H24/3期	H25/3期	H26/3期	H27/3期	H28/3期
■ ソリューション	107	128	50	195	230
■ ハードウェア	307	341	229	180	320
■ ソフトウェア	339	409	267	225	270

3-2 売上の内訳(対象市場別)推移

◆CAMERA・Consumer関連が縮小、車載向けは比重横ばい
H27/3期

◆前期不振だったBroadcasting向けはHEVC Decシステム中心に健闘



4-1 貸借対照表 (平成27年3月31日)

(単位:百万円)	前々期末 (H25/3期末)	前期末 (H26/3期末)	当期末 (H27/3期末)	構成比	対前期末比 増減
流動資産	3,221	2,539	2,900	97.7%	360
固定資産	91	577	67	2.3%	△ 509
資産合計	3,313	3,117	2,967	100.0%	△ 149
流動負債	108	100	92	3.2%	△ 7
固定負債	7	—	—	—%	—
純資産	3,197	3,016	2,875	96.8%	△ 141

4-2 キャッシュ・フロー計算書推移

(単位:百万円)	前々期 (H25/3期)	前 期 (H26/3期)	当 期 (H27/3期)	対前期比 増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	203	△ 199	△266	△ 67
投資活動による キャッシュ・フロー	990	△ 2	△ 14	△ 12
財務活動による キャッシュ・フロー	12	14	1	△ 13
現金及び現金同等物 の 増 減 額	1,208	△ 184	△270	△ 86
現金及び現金同等物 の 期 首 残 高	188	1,397	1,212	△ 185
現金及び現金同等物 の 期 末 残 高	1,397	1,212	942	△ 270

5-1 H28/3期業績見通し

(単位:百万円)

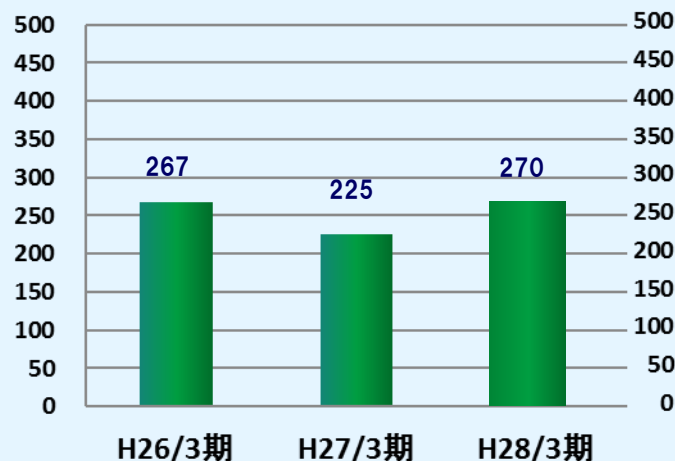
	予 想	増減	増減率	H27/3期実績
売 上 高	820	+220	+36.5%	600
経 常 利 益	56	+183	—	△127
当 期 純 利 益	47	+190	—	△143

- ◆ ソフトウェアライセンス＝配信システム、携帯端末、車載ナビ向け中心に需要見込む
- ◆ ハードウェアライセンス＝ディスプレイ装置向け中心にH.265 4K/8K、固定長圧縮見込む
- ◆ ソリューション＝主として放送・通信分野をターゲットに展開、TM5184MJCを活用した配信システムも見込む

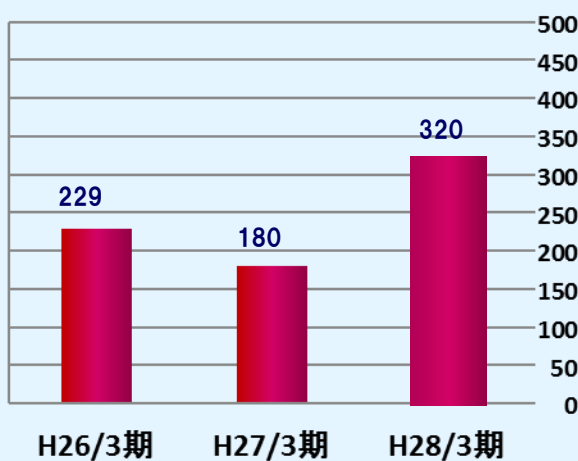
5-2 事業区分別売上予想

＜売上高＞（単位：百万円、H26/3期、H27/3期は実績、H28/3期は予想）

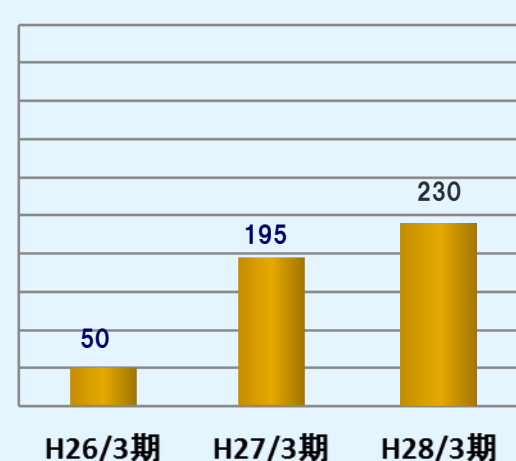
ソフトウェア事業



ハードウェア事業



ソリューション事業



予想
基礎

- ・ **配信システム**関連でH.264/H.265等ビデオ関連は底堅い需要見込む
- ・ オーディオ、ボイス関連も**携帯端末**、**車載**向けに伸び見込む

- ・ **ディスプレイ装置**向けに固定長圧縮中心に復調を見込む
- ・ **4K/8K**案件獲得、**海外**案件の拡大目指す
- ・ **FPGA**向けも期待

- ・ **低遅延小型版装置**を中継用途/監視用途別にターゲットを選定して拡販
- ・ **TM5184MJC**（**H.264**LSI+CPU）で4K伝送、各種監視システム獲得見込む

5-3 平成28年3月期における課題

1. 売上拡大

(1) IPライセンス事業: 4K/8K/H.265案件の獲得

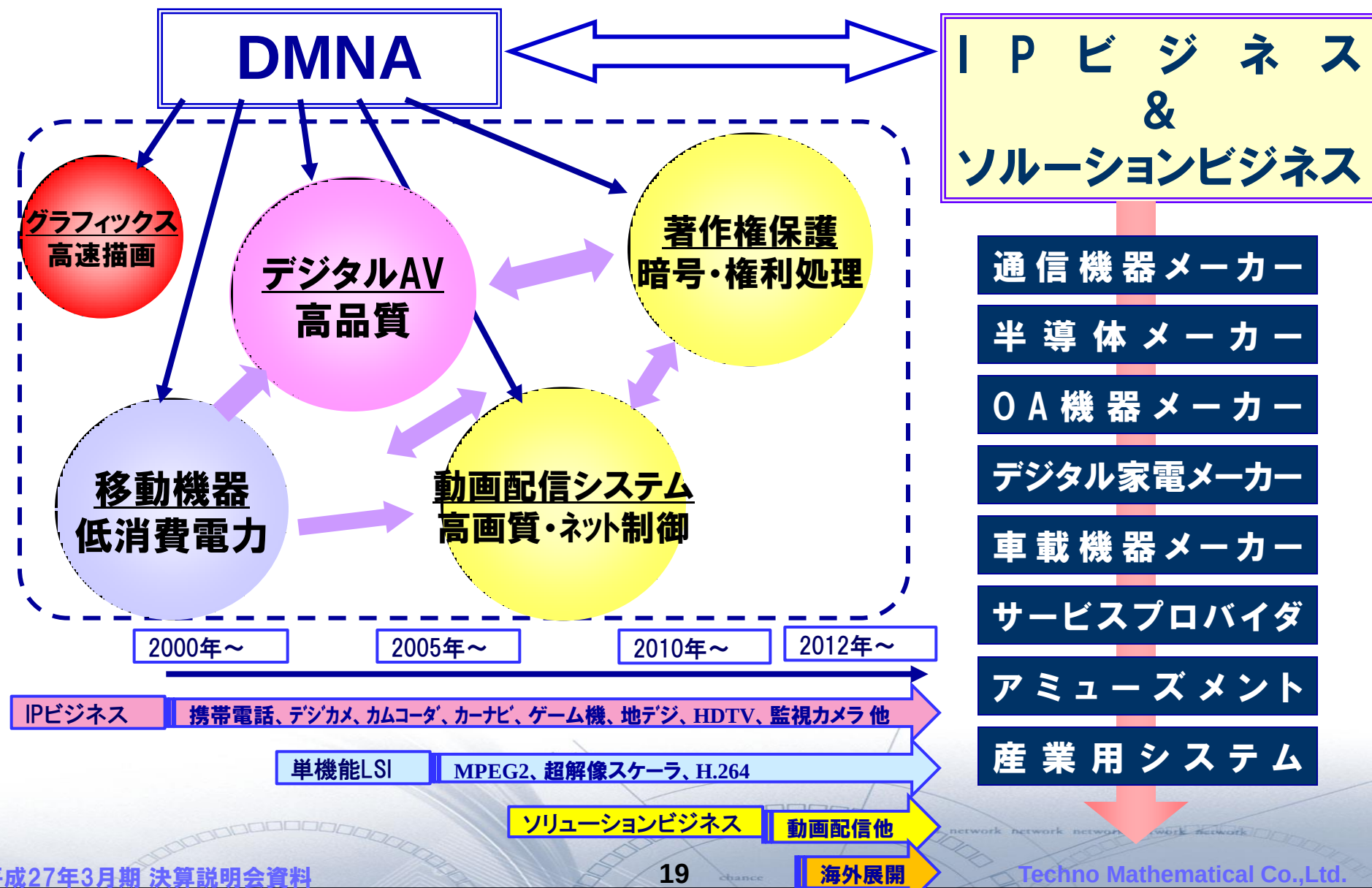
(2) ソリューション事業: 低遅延小型版装置の拡販と
市場ニーズを先取りした新製品開発

2. 海外ビジネスの対応強化と案件数拡大

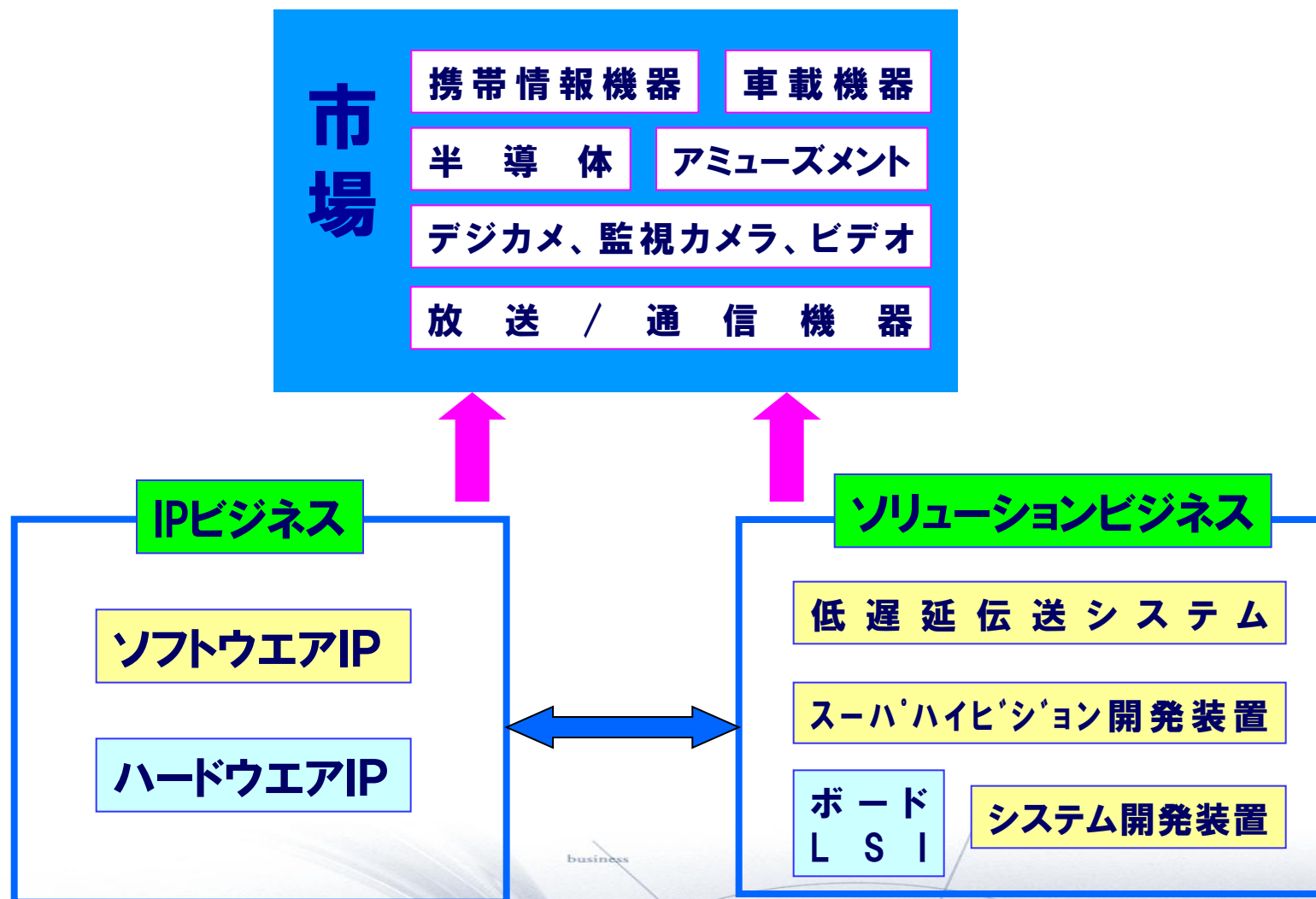
3. 全部門の意識改革による黒字体質の構築

4. 既存技術の高機能化・高性能化による差別化/優位性の 維持・強化

6-1 ビジネス展開の推移



6-2 IPビジネスとソリューションビジネス



アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございました。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問い合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 経営企画部

TEL:03-3492-3633 E-mail:ir@tmath.co.jp